

新たな始まり

あるところに、虫たちの村がありました。
かつては水で溢れた美しい村でしたが、今は日照りに悩まされ、
土地は枯れ果てています。
Once flush with water and full of life, an old village sits still and withers.



豊かな時代を振り返り、虫たちはただただ
ため息をついていました。
A ghost of it's vibrant past.

古き良き時代にならい、
伝統的な雨乞いの儀式を行います、
雨は全く降りません。

Those that live here cling to the memory of days gone by,
performing ancient acts with hopes of rain.



昔のやり方では、もうだめなのでしょうか。

But the old ways no longer quench their needs.

そんな中、村の長老は、外の世界に希望を見出します。

But The Elder Bug finds hope elsewhere.



ある冒険家に、外の世界を旅して「水」を探してくるよう命じました。

A trusted Scout is sent into The Wilds,
tasked with discovering The Water of the past.

冒険家は、旅を始めます。

この先何がおこるのかドキドキしながらも、
必ず戻るという決意を胸に、村を後にします。

Scared, The Scout starts his journey, unaware of
what lies ahead, but determined to return.



荒野は永遠に続き、水はいつこうに見つかりません。

The Wilds lay bare; The Water scarce.



冒険家は、願いを込めて、もう一度だけ雨乞いの儀式を行ってみますが、雨は一滴も降りません。

The Scout once again tries the old ways, but his efforts go unheard.

肩を落としながらそれでも進んでいく
と、突然今までとは全く違う大地が姿を
見せました。

But gradually the environment changes.



青々とした野原、豊かな水、生命力に溢れた
木々が冒険家を囲みます。

Fields, flush with Water, a lush grove, full of life,
reveals itself to The Scout.

感動で思わず立ち尽くす冒険家。

水溜りの前に今まで見たことのない美しい虫が
いたので、思わず尋ねました。

A bug unlike any other appears, standing before a clear pool.



「こんなにたくさんの水、どうしたんですか？
私はこんなにたくさんの水を見たことがない。
どうしたらこんなにたくさんの雨が降るのですか？」

“How have you done this?” asks The Scout, confused.
“I’ve never seen such Water before in my life.
How have you summoned such rain?”

「雨？ふざけないで。」

美しい虫が言いました。

“Rain? Don't be silly.” says The Auger.



「この水は、空から来たものじゃないわ。

この水は、ここにあるのよ。あなたの周りに、
たくさん。真っ直ぐな目で探すだけ。」

“This Water does not come from the sky, it exists here, already. All
around us. You just need to know where to look.”

そのまま美しい虫は、探検家を森の中へ連れ出しました。そして、様々な話をしながら森を歩きます。

The Auger walks The Scout through the forest, telling stories as they go.



足元にあるたくさんの水を掘り出した虫の話や、
木々の葉に溜まった水を集めた虫の話など。
どれも、様々な虫たちの個性が溢れた話でした。
Fantastic tales about pools of Water beneath their feet.
Or tapping Water from trees.
Each tale more unique than the last.

「実は、私たちも昔はあなたたちのように雨を待って、雨乞いをしていたの。」

“We used to hope for rain just like you,” said The Auger.



「でもね、自分たちの周りで水を見つけてからは、真っ直ぐな目で周りを探すようになった。素晴らしいアイデアは、どこからか降ってくるわけじゃないのよね。」

“But once we discovered The Water is all around us, we began to look everywhere, because wild ideas might not be so wild after all”

「そして、水は永遠には続かない。知っているとおり、掘り出したり、抽出したりすると、すぐに蒸発してしまったり、村の栄養に使われてしまったりする。」

“But you must never take The Water for granted. As you know, it is only temporary. The moment you dig it up, or extract it, it starts to evaporate, or is used to nourish the village.”



美しい虫は身を乗り出して言いました。「だから、うまくいかなかったやり方は捨てることも大切。枯れた井戸のその先へ進んでいかないといけないの。」

The Beetle leans in, “You must be willing to abandon an approach that no longer works. Try something new, move on, but a well run dry no longer has value”

冒険家は早く村に戻ってこの話を共有したくて、
ウズウズしました。

Awestruck and eager to share these stories back home,



美しい虫にお礼を言って、冒険家は急いで村へ
足を進めました。

The Scout thanks The Auger for his advice, and begins
his trek back home.

冒険家は、今度は新しいものを見つけようと、
周りを真っ直ぐな目で見渡しながら帰りました。

This time, alone, with no Water in sight, The Scout tries something new.



すると、ちょうど喉が渴いた彼の目の前に、小
さな水滴が見えたではありませんか。
「これが“ 真っ直ぐな目で探す”ということか！」

A small hole reveals a droplet, just enough to keep him going.

村へ戻った冒険家は、様々な虫に大きな声で叫びました。「水を新しく手に入れる方法を見つけたぞ！」

Upon his return, The Scout shouts and rejoices!
For he found a new way to bring back The Water!



しかし、誰も彼の話に耳を傾けません。
伝統的なやり方をやめるのはそう簡単ではなかったのです。
The old rituals can be forgotten. But none listen.
Giving up old habits is not easy and few believe The Scouts tales.

しかし、決意を固めた冒険家は、
熱心に様々な虫を説得していきます。
But determined, The Scout persuades an eager few.



冒険での学びを丁寧に語り、少しずつ
信頼してくれる仲間ができてきました。
The Scout shares his tales, the few listen.
They discuss.

そして、とうとう数人の仲間たちと
小さな井戸を掘り、
Working together, they dig a small pit.



そこからは水が少しずつ滲み出てきました。
荒れ果てた土地が少しずつ変わっていきます。
And sure enough, a tiny puddle emerges,
and the land begins to change.

その後も新たな水たまりを作ろうとするたびに、
虫たちはやり方を変えていきました。

After each puddle is extracted they make changes,
sometimes moving locations, sometimes not, improving the land as they go.



場所を変えたり、土地をならしたり。他の虫たちも変化に
気づき始め、いろんな虫が協力し始めます。

Others begin to take notice...

この変化の中心になったのは、長老でした。

The main of which is The Elder Bug.



冒険家の挑戦を称賛し、失敗してもいいからやってみよう
と村の虫たちを応援したのです。

Astounded by the changes, The Elder Bug lauds The Scout
and implores all to heed his tales.

時が経つにつれ、冒険家たちのやり方を真似て、
水を作り出す虫が増えていきます。

As time goes on, more and more copy the ways of The Scout,
bringing their own approach to The Water.



最初は失敗することもありましたが、次第に知恵や技術を寄せ集め
共有し、自分たちに合った方法を見つけていき、水はあちこちから
様々な方法で湧き出てくるようになりました。

Some fail at first, but gradually find new ways, unique to their talents.
Water begins to bubble up from all over.

雨乞いの儀式は、伝統的なイベントとして
残されることになりました。

The Old ways live on in a few.



雨乞いを体験することで、どれだけこの土地に変化がもたされたかに気づくことができます。未来に疑問を持つためには、過去を学ぶ必要があるのです。

A reminder of how much has changed.

Learnings from the past in order to question the future.

そして村には再び、豊かで美しい水が戻りました。

In time, and not all at once, The Water returns.



つづく

To be continued...

